

平成 23 年度第 1 回日野市福祉有償運送運営協議会 会議録

日 時	平成 23 年 7 月 28 日 (木) 午前 10 時 30 分から正午
場 所	日野市役所 1 階 101 会議室
出席委員 (敬称略)	藤田 博文 伊藤 勲 戸田 四郎 滝瀬 仁久 菱沼 勝
欠席委員 (敬称略)	五十嵐 平和 大森 宣暁 春原 和洋 林 幹高 川久保 紀子
会議に出席した 事務局職員	中澤 洋
会議に出席した 有償運送団体	山下 義之(福祉政策課長) 高橋 登(福祉政策課主査) 高野 幸雄(福祉政策課主事) 鷲岡 拓真(福祉政策課主事)
傍 聴 者	NPO 法人福祉カフェテリア 社会福祉法人日野市社会福祉協議会 NPO 法人サポート日野
傍 聴 者	あり
会議次第	○開会 ○報告 ・福祉有償運送団体の実施状況報告について ○検討 ・日野市における福祉有償運送のあり方について ○その他
配布資料	【事前配布】 ・前回議事録 ・福祉有償運送団体実施状況(平成 20 年度～平成 22 年度) ・日野市における高齢者等の推移 ・日野市内における介護タクシー等の現状 ・多摩地域類似団体における福祉有償運送登録団体状況 【当日配布】 ・日野市福祉有償運送運営協議会委員名簿

会長	<p>1、開 会</p> <p>本日はお集まりいただきありがとうございます。今年度の第1回の福祉有償運送協議会を開催いたします。まず、はじめに本協議会の委員に変更がありましたのでご報告いたします。</p> <p>市職員からの選出となっております健康福祉部長につきまして、平成23年2月1日付けの人事異動に伴い、従前の大坪委員に変わりました。川久保委員が就任いたしました。それから本日中澤委員さんがご欠席という連絡がありましたので、報告いたします。本日の福祉有償運送運営協議会ですが、協議会設置要綱第6条の規定によって、委員の過半数の出席がなければ開くことができないとされていますが、本日11名中10名の委員の方の出席をいただいています。したがって本日の協議会は成立いたしますのでご報告を申し上げます。</p> <p>続きまして事務局と本日出席をしている市役所の関係職員を紹介いたします。</p> <p>(関係職員紹介)</p>
事務局	
事務局	<p>続きまして、傍聴を希望されている方がいらっしゃいますのでここで入室をしていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>2、報 告</p> <p>それでは、さっそく、次第に従いまして、福祉有償運送団体の実施状況報告について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>日野市において、登録団体は5団体あります。本日は、そのうち市内3団体の担当者の皆様に来ていただきましたので、詳細については各団体のほうから説明をさせていただきます。</p> <p>私どもの団体ですが、昨年度よりは数字的には下回っています。しかし、特別な要因があるわけではなく、今年の減少は大きなトレンドの波と考えております。会員の方も多少増減がありますが、通常通りの内容で大きな変化はありません。</p> <p>私どもの団体も、人数的にも減ってきている傾向があります。理由としては施設に入所なされたり、市外のご家族のもとに引き取られたという方が多くいらっしゃいましたので、それが原因であると考えています。新規の登録等についても、お問い合わせがあったものについては、個別対応等をしてはいますが、お問い合わせ自体もこの1年は少し減っている実感があります。</p> <p>私どもの団体は前年度に比べると大幅に距離と回数が増えています。今年度は前年度より多くの運転協力者の方に協力をさせていただき、輸送の依頼を受けられる回数が増加したからです。また、長距離の輸送もありましたので距離も増えています。</p> <p>市外の2団体につきましても、日野市内での輸送回数は市内の団体と同様でやはり減少傾向です。その要因についても電話で確認をしたのですが、特別な要因は感じられないとのことでした。ただ、表を見てお気づきかもしれません</p>
事務局	
福祉カフェテリア	
社会福祉協議会	
サポート日野	

<p>委員</p>	<p>が、市外での輸送回数は増加しています。その要因についてお尋ねしたのですが、幹さんからはケアマネさんからの紹介が増えている気がするとの回答がありました。自立支援センターは、登録している方が2階に引っ越されて、階段の上り下りに昇降機を使うことになり、今まで以上に頻繁に利用なさったとのことです。</p> <p>他の団体の輸送回数が減っているなかで、サポート日野さんの輸送回数が増えた要因として、運転協力者が確保できたからという説明がありました。この資料を見ますと利用者が増えているわけではなさそうで、そうすると運転協力者を確保できたことによって、利用内容別で何か特別な増加要因があるということですか。</p>
<p>サポート日野</p>	<p>運転協力者を確保できたことによって、今まで輸送を受けられなかった利用者さんの病院への通院に対応できるようになったからです。</p>
<p>会長</p>	<p>今まで受けられなかったというのは、他の方の輸送でその時間はお受けできず、断ってしまったということですか。</p>
<p>サポート日野</p>	<p>運転協力者の方の手が空いていなかったのので、受けられませんでした。</p>
<p>会長</p>	<p>3、検討事項</p> <p>それでは次第の3番、検討事項です。日野市における福祉有償運送のありかたについて、委員の方々と協議をしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>簡単な資料ではありますが、説明をさせていただきます。この資料を集計するにあたり、一部の委員の方にご協力をいただきました。ありがとうございます。</p> <p>福祉有償は介護などの身体的な問題で移動制約がある方をサポートしていくものであることは皆様もご承知のとおりだと思います。そういった方の移動も、本来であれば公共交通機関、バス、電車、タクシー等が担うものですが、実際にはニーズに答えられない点もありますので、福祉有償運送サービスがあると思います。</p> <p>まず、資料3をご覧ください。日野市内で移動制約者になりやすい方の推移をまとめさせていただきました。日野市の人口は約17万から18万弱で、全国的な人口減少傾向とは異なり、若干ではありますが年々増加しています。また、人口の増加に伴って、人口における高齢者の割合も増加しています。障害に関する方についても、全体的には増加の傾向にあると思います。ただ、この資料の数字の中で、どの程度の方が本来の意味で福祉有償のニーズの対象になるのかというところは少々示しづらいところがありますので、大枠ではあるのですが、直近3年間の日野市の状況を、この資料でお示しをさせていただきました。</p> <p>次に資料4をご覧ください。日野市内の福祉有償以外の輸送事業に関して、事務局のほうでアンケート調査という形をとり、一部の委員の方を含めて、ご協力をいただきました。17年度についても全く同じではないのですが同様の調査をさせていただきました。22年度は10団体が15万弱の輸送を行いました。</p>

	<p>なお、17年度については6団体であり、団体数は5年で増えています。輸送の実績も約1万4千の実績でした。実績についても1万弱増えています。</p> <p>引き続きまして、資料5をご覧ください。他市の福祉有償運送団体を集計したものです。各市の横に登録団体等が日野市と比べて多いか少ないかを記載しています。各市とも全体的に減少の傾向にあるのですが、立川市、東村山市については増加をしています。西東京市について集計が間に合わず、ご回答がいただけない部分がありました。</p>
委員	<p>資料3にもあるとおり、福祉有償や介護タクシーを利用される人口というのは特別区にしても多摩地区にしても基本的には増加しています。その一方で、全体として輸送の実績自体は減少傾向にあるという事実も色々なところで議論されています。地域内でこういったサービスを知っていただく方法を議論している自治体もあります。</p>
会長	<p>需要の方は増えていると思われませんが、供給は減ってきているのでしょうか。福祉有償運送の件数は減っているということですが、福祉タクシーや介護タクシーについてはどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>17年度に比べると事業者が6から10に増えていて、件数自体も1万4千から1万5千に増加しています。</p>
会長	<p>ということは、もしかしたら福祉有償運送ではなくて介護タクシーを使っているかもしれないということですか。</p>
事務局	<p>そうかもしれません。福祉有償の利用件数の減少と、介護タクシー等の増加の因果関係を明確に結びつけることは難しいのですが。</p>
会長	<p>わかりました。今回日野市が資料をまとめてくれましたが、こういった資料を市民の方に対して広く情報提供はしていますか。</p>
事務局	<p>周知不足という面は少しありますので、それについては今後、考えさせていただきます。</p>
会長	<p>今回、これだけ整理していただいたのですから、ホームページや市の広報などで、是非情報提供をしてほしいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>3点ほど聞きたいことがあります。</p> <p>1点目は資料4を見ていますと、西東京民間救急の料金の欄に旧メーターと書かれているのですが、どうしてここだけが旧メーターなのでしょう。</p> <p>2点目は福祉タクシー関連団体が10団体あるなかで西東京民間救急が9,024件の利用件数があり、次いで和いあい本舗が2,580件となっています。この2社が年間利用件数の大部分を占めています。他の団体は基本料金を750円に設定していますが、この2社だけは利用料金がそれぞれ660円、580円となっています。他の事業者との価格差が利用実績の違いの理由なのでしょう。あるいは他に何か理由があるのでしょうか。</p> <p>3点目は福祉有償に関してお聞きします。立川市と東村山市で1団体が事業廃止、多摩市でも更新をしない団体があります。他県でも同じように福祉有償サービスから撤退する業者があるとのこと。私が聞いたところ、福祉有償</p>

委員	<p>サービスに対する規制が厳しく、福祉有償団体が悲鳴を上げているという報道が出ているとのこと。需要があっても供給者側が事業を続けることができないと見ていいのでしょうか。</p> <p>1 点目についてお答えします。メーターを交換するのに費用がかかるので、「旧メーター、要するに 660 円で走っていいですか」と問い合わせたところ許可を頂いたので旧メーターで走っているだけです。</p> <p>また、2 点目については、私ども西東京民間救急の利用実績 9,024 件のうち、日野市内の実績はほとんどありません。また、この数字の中には全国福祉有償サービス協会、その中の福祉タクシーのコールセンターで受けた依頼も含まれています。私はその会員になっておりまして、多摩地区の依頼はほとんどそこで受けております。そこに加盟している団体が多摩地区では少ないです。</p>
委員	<p>もしも私が西東京民間救急のサービスを利用したいと思ったときは、直接コールセンターに電話すればよいのでしょうか。</p>
委員 会長	<p>私どもに電話しても良いですし、どちらでも構いません。</p> <p>この資料 4 の年間件数というのは、日野市内だけでなく、市外も含まれているのでしょうか。</p>
委員	<p>数字上は広域の利用者も含まれていると思います。また、市内の方が近隣の自治体の介護タクシー事業者さんを利用されているケースもたぶんあるでしょう。福祉有償運送のように事前に会員になっておく必要もありませんので。</p>
会長 事務局	<p>日野市だけの年間件数をデータとして提供することは難しいのでしょうか。</p> <p>はい。この利用件数は厳密に言えば日野市民だけではなく、他市の方も入っているかもしれません。</p>
会長	<p>先ほど福祉タクシー、介護タクシー、民間救急の利用件数が増加傾向にあると言っていましたが、一概にはそうとは言えないということでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。ただ、前回調査の 17 年度についても同じような集計をさせていただいておりますので、周辺地域全体としては増えていると言えます。また、もしかしたら日野市だけでは違う動きをしているかもしれません。</p>
会長	<p>資料 2 については、日野市と他市でデータが明確に違います。他市の利用件数がかかなり増えています。もしかしたら福祉タクシー、介護タクシーも他市がものすごく増えている可能性もあります。</p> <p>先ほど、料金が安いから利用があるのかという質問もありましたけれども、その辺りの因果関係の全体を把握されている方というのはいらっしゃるかもしれません。</p>
委員	<p>1 メーター660 円で後は上がっていくので、うちの値段が安いとは思いません。</p>
会長	<p>情報があれば利用者もより安いものを選ぶ可能性もあります。情報提供は重要ですね。</p>
委員 会長	<p>ただ、安ければいいというものでもありません。</p> <p>質も重要ですね。</p>

委員	<p>3 点目の質問に関してお答えします。確かにそういった報道がされていますが、協議会で合意を得られれば対価の値上げが認められている部分もあります。だから、対価が安いというのであれば運営協議会で協議のうえで値上げを行えば、運営をするための最低限のところは確保できると思います。</p>
委員	<p>資料 4 には介護タクシー各団体の年間の利用件数が記載されていますが、利用者の数などもデータがあれば教えていただけないでしょうか。また、介護タクシー券というのが発行されていると思うのですが、どのような人にどれくらい渡されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>調査票の中にはそういう項目がありませんので、申し訳ございませんが、事務局のほうでも把握していません。それとタクシー券につきましては、障害福祉課が担当しています。</p>
障害福祉課	<p>障害福祉課では、障害者手帳については 3 級までの方、愛の手帳については 3 度までの方に対してタクシー券をお渡ししています。</p> <p>また、タクシー券の利用の実績になりますが、平成 22 年度については、1,776 人の方に利用していただいています。利用された枚数については 48,362 枚です。利用人数、利用枚数については平成 20 年度以降、増加傾向にあり、予算規模も年々増えているという状況です。</p>
会長 障害福祉課	<p>利用の料金や利用の仕方は具体的にどのようなになっているのでしょうか。</p> <p>基本的に重度の方については、年間 48 枚、それ以下の方については 36 枚配布しています。また、利用料金についてですが、基本的には基本料金を補助するという形をとらせていただいています。750 円までが限度となっています。また、1 回の乗車につき 1 枚しか使用できません。</p>
委員	<p>先ほど、色々な制度の周知をどうするかという話がありました。立川市のケアマネさんから紹介されたという幹福社会の例がありましたが、移動制約者に対する制度というのは色々な法的な経路も違いますし、大変複雑であり、たぶん実際前線にいる障害者の団体の方々とか、あるいは高齢者のケアマネさんなどでも、全体像を理解している人はほとんどいないと思います。料金体系から何から制度的に全部違うので、その辺は是非パンフレットなども含め、説明していただきたいと思います。障害者の方も高齢者の方もそうですが、不自由な方は外に出るということを多くの方が我慢してしまいます。だから、大きな意味でケアということを見ると、いかに外に出ていただくか、自由にできるか、ということは大変重要だと思いますので、説明会の開催なども含め、全体的に考えるべきでしょう。</p> <p>特に利用者と直接関わるケアマネさんなどの職種の人たちに情報を伝えるということが重要だと思います。</p>
委員 障害福祉課	<p>私もタクシー券を利用しているのですが、初乗りだけ 1 枚ですよね。3 枚か 4 枚同時に使用することはできないのでしょうか。</p> <p>申し訳ございませんが、今のところ制度的には 1 回につき 1 枚というような形をお願いをしているところです。また、枚数についても、それぞれ障害の程</p>

副会長	<p>度やお使いになる用途に応じて枚数が多い、あるいは少ないということに対する要望はいただいているのですが、その辺についても今後検討していくという形となっています。</p> <p>障害を持っている立場からすると、自分たちがその車に乗れて、移動ができて、そのお金が払えるかどうか明瞭で分かりやすく、なおかつ事業者を自分たちで選べるというのが第1条件です。移動に困難を感じている人が誰でも使えるということが目指すべきものだと思います。</p>
委員	<p>先程、福祉有償をしている団体が撤退していくという話がありましたが、実は多摩地域でも福祉有償運送を行っている団体のネットワークがあります。以前各団体の移送サービスに対する財政状況を調査したこともありますが、今の制度では福祉有償運送サービスの枠内で採算を取っていくのは大変困難という回答を各団体から受けています。他のサービスも行い補填をしながら地域の中でやっていくというケースが非常に多いという風に思いますが、制度等含めて各地域でどう工夫していくかということが、これから求められていくと思います。</p>
委員	<p>私は営利を目的としている団体の一員ですので、やはり福祉有償運送とは違う立場で行きたいと考えています。福祉有償としてやっている方と営利を目的としている施設の方の住み分けも考えていかなければならないし、私たちのような車いすタクシーのような営利を目的としている事業所とも区別していかななくてはなりません。</p> <p>また、一般家庭で車いすのまま乗れる車を購入しているような実績も少しずつ増えているのかもしれませんが、それと介護休暇、育児休暇等が制度的になされている関係で、皆さんの業態が少しずつ減少している可能性もあるでしょう。家族間のケアがどれだけできている社会になっているのか、それがちょっと分かりません。もしも教えていただけるなら参考にさせていただきたいのですが。</p>
副会長	<p>確かに家族間で送迎しているケースは非常に多いと思います。自分で所有している車を、車いすのまま乗れる状態にしている家族もたくさん知っていますが、最後には家族が送迎をやりきれなくなってしまうのが現状です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。家族間のサポートの話もありましたが、日本全体で一人暮らしや夫婦だけの高齢者の方の世帯が増えていますので、家族からのサポートが得られにくい人が増えています。そういった面もありますので、福祉有償運送などはますます重要になるでしょう。</p> <p>そのほか、何かご意見などありますでしょうか。</p> <p>本日は色々なご意見が出ましたが、是非これらを大事にして、福祉有償運送のより良いあり方を探っていきたいと思います。皆さん、今後ともご協力お願いいたします。</p>
会長	<p>4、その他</p> <p>それでは次第の4番、その他に取り組みますが、事務局から何かありますか。</p>

事務局	<p>ありがとうございました。今回久しぶりに各事業者さんにご協力を頂いて資料を提示することができました。ただ、本日、ご指摘があったようにまだ不足する情報等もありますので、また次回、機会を設けて検討をしたいと思っています。また、こういう制度そのもの、あるいはこういった輸送に関わる資源があるという情報提供の部分についても宿題を頂きましたので、その辺も対応したいと思っています。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。それでは以上で本日の協議会を終了いたします。長時間のご協力、ありがとうございました。</p>